はばたきバドミントン大会　競技申し合わせ事項

【サービスの方法について】

1．上肢障害や車いす使用者等の障害によりやむを得ないと認められた場合において
サービスは、下記の点について配慮する場合がある。
サーバーのラケットでシャトルを打たれる瞬間に、シャトル全体が必ずコート面から
1．15m以下でなければならない。
車いす使用者の場合、サーバーのラケットで打たれる瞬間にシャトル全体がサーバーの脇の下より、下になければならない。

2．下肢障害を有するものはダブルレシーバールールの適用を希望することができる。
但し、毎回試合開始前に審判に申請しなければこの方法は適用されない。
試合開始後に申請した場合は、その時点からではなく、次のセットからの適用とする。
ダブルレシーバールールとは下記の通りである。

① 下肢障害を有するものがレシーバーとなる場合、もう 1 人のプレーヤーを含め、
2 人がレシーバーとなることができる。
但し、サーバーが、サービスの動作を開始する前に、2 人ともレシーブエリアに
入っていなければならない。

3．サービスは判定装置を設けない。

【競技全般について】

1．2 試合目以降、線審は負けたチームが実施する。

2．監督・介助者席は、コートサイドには設けない。

3．車いすルールは、はばたきバドミントン大会では適用しない。

【ラリー競争の部】

1．ラリー競争のコートは半面にて、1 コートに 2 ペア（組）入り実施する。ラリーはネットを挟んで行う。ペアの相手は主催者が用意する。

2．ラリーのカウントは 5 分間のうち選手とその相手が打った回数で競う。
サービス（打ち始め）はペアのどちらからでも良いが、サービスも 1 回とカウントする。

【招集について】

1．当日配布するタイムテーブルを確認し、招集時間に合わせて招集場所に集合すること。